

## 6 老後の収入源

- ・最も頼りにするのは公的年金

老後の生計を支える手段として最も頼りにする（1番目に頼りにする）収入源は、「公的年金による収入」の割合が最も多く64.3%、次いで「本人や配偶者の就労による収入」が15.2%となっている。

年齢階級別にみると、高年齢層では「公的年金による収入」が約8割近くを占めているが、若い世代では「本人や配偶者の就労による収入」「貯蓄または退職金の取り崩し」など、「公的年金による収入」以外の比率が多くなっている。

図7 老後生活を支える主な収入源

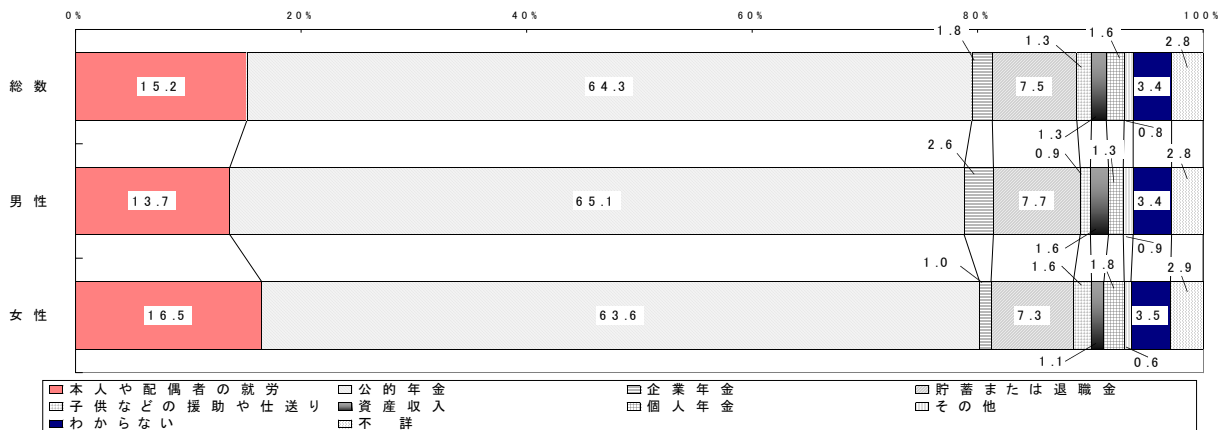
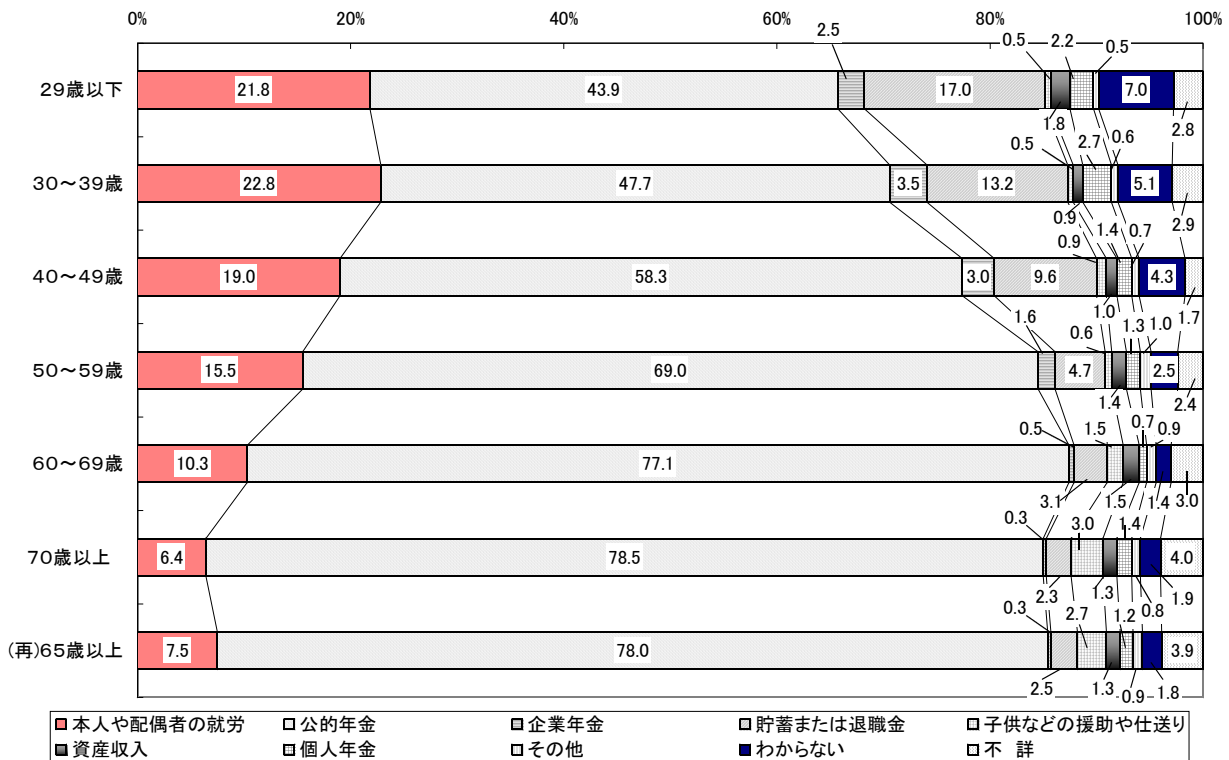
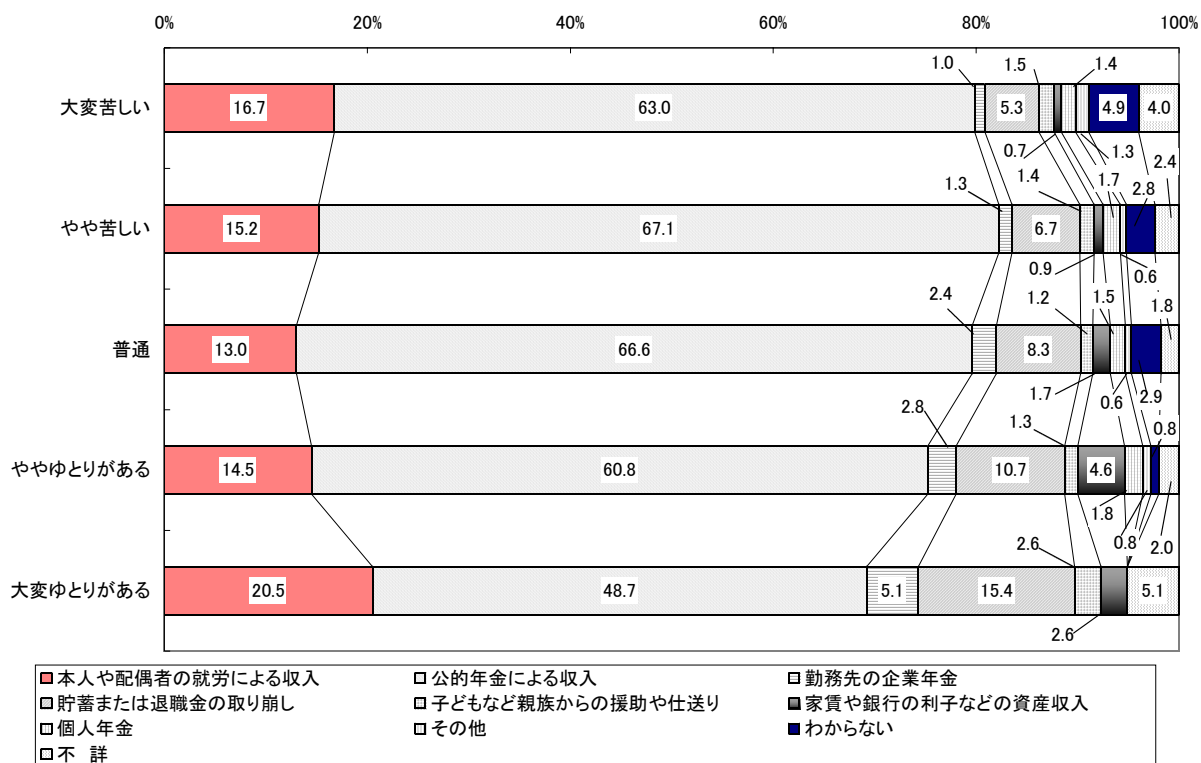


図8 年齢階級別にみた老後生活を支える主な収入源



これを世帯の生活意識の状況別にみると、ゆとりがあると感じている世帯層では「勤務先の企業年金」「貯蓄または退職金の取り崩し」の割合が多くなっているのに対し、苦しいと感じている世帯層では「公的年金による収入」の割合が多くなっている。

図9 世帯の生活意識の状況別にみた老後生活を支える主な収入源



(注) 世帯の生活意識の状況が不詳の客体を除く。

また、1番目に頼りにするものと2番目に頼りにするものの組み合わせをみると、「公的年金による収入」と「貯蓄または退職金の取り崩し」を選択した者の割合が、23.2%と最も多くなっており、次に「不詳」を除くと「本人や配偶者の就労による収入」と「公的年金による収入」を選択した者が8.4%と多くなっている。

表3 老後生活を支える主な収入源として1番目に頼りにするものと2番目に頼りにするものの組み合わせ

(単位:%)

	1番目に頼りにしているもの										
	総数	本人や配偶者の就労による収入	公的年金による収入	勤務先の企業年金	貯蓄または退職金の取り崩し	子どもなど親族からの援助や仕送り	家賃や銀行の利子などの資産収入	個人年金	その他	わからない	不詳
総数	100.0	15.2	64.3	1.8	7.5	1.3	1.3	1.6	0.8	3.4	2.8
2番目に頼りにしているもの											
本人や配偶者の就労による収入	9.7	-	8.4	0.1	0.8	0.1	0.1	0.2	0.0	-	-
公的年金による収入	15.0	8.4	-	0.7	3.9	0.6	0.6	0.6	0.2	-	-
勤務先の企業年金	4.8	0.4	4.0	-	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
貯蓄または退職金の取り崩し	26.9	2.5	23.2	0.6	-	0.0	0.2	0.3	0.0	-	-
子どもなど親族からの援助や仕送り	5.7	0.6	4.7	0.0	0.2	-	0.1	0.1	0.0	-	-
家賃や銀行の利子などの資産収入	2.7	0.3	1.8	0.0	0.4	0.1	-	0.0	0.0	-	-
個人年金	6.3	0.8	4.4	0.1	0.7	0.1	0.1	-	0.0	-	-
その他	1.3	0.1	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-
わからない	13.6	1.3	7.5	0.1	0.6	0.2	0.1	0.2	0.2	3.4	-
不詳	14.0	0.6	9.3	0.1	0.4	0.2	0.1	0.1	0.3	-	2.8